

事業所名 グループホーム 楽々園

日付 平成 20年 9月 16日

評価機関名 有限会社 アウルメディカルサービス

評価調査員: 元小学校教諭
元婦人相談員

介護経験歴7年

自主評価結果を見る (工事中)

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)(記述式)

施設の目指している地域との交流もここ最近、近隣に新しい住宅や喫茶店が出来て来たので、より地域との交流が深まりだし今後は楽しみになってきました。そして、窓を開放することで自然の風が施設に溶け込み、入居者にとって柔らかく季節が替わっていくのを感じさせ、入居者自身が意識をせずに庭に出る気分させていました。

今回は職員の入れ替えがあった関係で、入居者と職員との「なじみ」の関係を作ることにも模索していることが感じられましたが、従来のケア支援・記録の長所を継承し、少しでも改善できるように新メンバー組織は、チャレンジしていました。特にスタッフは一人ひとりの気持ちをより大切にしようとする事で意欲の啓蒙を計ったり、一層の温かいケアを目指そうとしたりして、心地よい雰囲気を随所に設けようとしていました。更に、様々な記録簿・記述の内容やスタッフ一人ひとりの言葉の節々からも全員が一致して前向きに考え取り組んでいく姿勢が伺えました。

特に改善の余地があると思われる点(記述式)

ゆとりがあるときには基本に戻って、職員同士が仕事の連携について話合ったほうがよりよい見守りや気配りが出来るのではないのでしょうか。また、これからの具体的な取り組みとしては、地域からの支援は上手く関わられているので、さらに地域に根付いていくためには、交流への工夫・努力の余地(広報・働きかけ等)が一層必要ではないかと思われる。

2. 評価結果(詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	入居者の事を考えて介助にあたり、一人ひとりに合った言葉かけや寄り添いが出来るように努力しています。また、理想的な暮らしを目指し、地域・入居者・家族との関わり方を十分に考慮するように心掛けています。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	行動の制限を出来るだけ少なくして施設内では自由に活動してもらい、また、他ユニットの入居者や職員とも交流が出来るようにして、気分転換が図れるように対応している。ベッドを取り除きたい入居者の要望を聞き入れ、床で横臥しやすくすることでスタッフは安全を追求している。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	失禁の時などは、他の方にわからないように処理して自尊心をキズつけないようにしている。また、入浴時は職員1名で対応することで、裸姿を他の入居者や職員等に見られないように心がけている。また、昔やっていた仕事や趣味を家族の方に教えてもらい、施設の中にもやりたい事が出来るように体制を整えている。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	職員の入れ替わりがあったので、入居者個々に合った対応ができる介助を目指すために、作業の連携や介護の方針をみんなで話し合っている。		